

大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会議事録

文責：金丸委員（事務局一部修正）

| | | | | | |
|--|--|-------|-------|-------|-------|
| (1) 会議の名称 | 大田区自立支援協議会 第4回 防災・あんしん部会 | | | | |
| (2) 開催日時 | 令和2年10月21日（水）13：30～15：30 | | | | |
| (3) 開催場所 | 障がい者総合サポートセンター A棟3階 集会室 | | | | |
| (4) 出席した 委員、事務局等 | 委 員（部会長：志村 陽子）（副部会長：蛭子 明子）＜敬称略＞ | | | | |
| | 宇田尻 浩司 | 遠藤 文夫 | 藤澤 成光 | 宮坂 貴子 | 栗田 修平 |
| | 生駒 友一 | 石塚 由江 | 金丸 正明 | 木村 直紀 | 北畠 拓也 |
| | 前田 斉 | | | | |
| | オブザーバー：武知 大輔（大森警察署）、岩下 龍矢（蒲田警察署）、 佐藤 渉（港特別支援学校） | | | | |
| | 区職員：和田 洋治（防災危機管理課普及担当係長） 山下 潤二（福祉管理課調整担当係長） 山戸 健司（障害福祉課施設担当係長） | | | | |
| 事務局：宮崎 理恵、森崎 恵里、江川 奈保美 (障がい者総合サポートセンター) | | | | | |
| 1 連絡・確認事項 | | | | | |
| (1) 司会、書記の確認（司会：遠藤委員、書記：金丸委員） | | | | | |
| (2) 出席者の確認、オブザーバー参加者、配布資料の確認 大田区自立支援協議会名川会長が、Webex を使用し専門部会へ参加。 | | | | | |
| (3) 運営会議（第2回9月8日、第3回10月6日）の報告 | | | | | |
| ア 第2回運営会議 | | | | | |
| 各専門部会から今年度のワーキンググループの活動について報告した。防災・あんしん部会は、「調査・研究」「自助・共助ツール」「権利擁護」3つのワーキンググループが承認された。相談支援部会は、障がいサービスと介護サービスの連携を検討するワーキンググループの提案がある。地域生活部会は、新型コロナウイルスの地域課題を検討するワーキンググループの提案はあったが、まずは専門部会での検討となった。 | | | | | |
| イ 第3回運営会議 | | | | | |
| 第1回大田区自立支援協議会本会（10月27日）の検討を行った。また、東京都自立支援協議会セミナー（志村部会長と宇田尻委員が参加）について共有を行った。セミナーの資料「東京都内の自立支援協議会の動向」に、他区市町村の権利擁護の取り組みが記載されていた。 | | | | | |
| (4) 第1回本会（10月27日）の実施について | | | | | |
| 新型コロナウイルスの感染症対策のため、本会委員のみの参加となった。当日の報告内容について、資料を提示する。 | | | | | |
| 2 前回の振返り 第3回専門部会議事録・ご意見カードの紹介。 | | | | | |

3 議題

(1) 各ワーキンググループからの報告

ア 「A調査・研究」より

- ・10月5日に第1回を開催。
- ・福祉避難所へ第三弾のアンケートを実施する。
- ・ワーキンググループ内で、区の防災体制について、確認をしたいと意見がある。
- ・状態別ニーズ調査について、災害時の{困りごと}を災害のタイミングでどのように違いがあるのか調査をする予定。

イ 「B自助・共助ツール」より

- ・10月14日に第1回を開催。
- ・ヘルプカードの用紙の見直しを行った。修正箇所は以下のとおり。
文字フォントの統一、情報保障の項目「要約筆記」を「筆談」へ変更、生活介助の項目を何に介助が必要か明確化、食事の形態の項目の普通食・とろみ食、授乳を削除、アレルギー項目の自由記述に変更
- ・大田区ホームページからExcel形式でダウンロードして自分のパソコンで入力できるように準備している。
- ・資源マップ作成については、次回ワーキンググループから取り組む。まずは、メンバーで大田区の地図を確認。

(ヘルプカードに関する意見)

- ・封入用紙の説明の言い回しが難しい。
- ・情報保障という項目は、一般的にわかりにくいのではないかと。
- ・文章にルビを振るのはどうか。
- ・封入用紙のサイズにルビ振りは、文字が小さくなってしまう。漢字の後ろに(フリガナ)で、対応してもいいのではないかと。
- ・パソコンで記入できるようになることは、期待している。ヘルプカードの更新のため、バックアップができる。
- ・使用を重ねながら、内容について改訂していくと良い。

ウ 「C権利擁護」より

- ・9月23日に第1回を開催。
- ・昨年度の権利擁護の学習を踏まえ、今年度の部会の取り組みを検討した。

(2) 委員・オブザーバーから各ワーキンググループに関する意見

(A調査・研究)

- ・福祉避難所のアンケートが継続できているため、良い事例を取り上げてもいいのでは。

(B自助・共助ツール)

- ・マップ作りは、完成したものを配布することよりも、地域課題を共有するその作成の過程を大切にしてほしい。

(C権利擁護)

- ・権利擁護を身近な問題として考えている。一般の人が理解できるような工夫が必要であり、その普及啓発方法について重要と考えている。

(警察署より)

- ・大田区のヘルプカードのポスターの掲示を見た他県の方から、大田区の取り組みは素晴らしいと意見をいただいた。
- ・ヘルプカードについて、職員へ周知した。実際に目にした職員も多かった。
- ・風水害については、天気予報で予測できるが震災はいつ起こるかわからない。防災グッズの準備など意識をしてほしい。

(防災危機管理課より)

- ・今年度の大田区総合防災訓練は、風水害編と震災編で企画していたが、震災編については来年度に延期となった。風水害編は9月実施を延期して11月15日に開催するが、規模を縮小して参加は自治会と町内会のみとしている。

(福祉管理課より)

- ・震災時と風水害時に福祉避難所の開設の流れについて説明。震災時との大きな違いは、風水害時の福祉避難所は学校避難所と同時開設となる。現在進行形で調整を行っている。

4 その他

(1) 名川会長より

自立支援協議会は、地域課題を抽出し検討する役割がある。福祉避難所のアンケートやヘルプカードなど、専門部会で細かい取り組みができていると感じた。権利擁護については「障がいがあるから差別されてしまった」と「障がいを理解してもらいたい」がある。今後、大田区障がい者差別解消支援地域協議会で取り組みをしていない普及・啓発について、検討はどうだろうか。

(2) 委員および各関係機関からの情報提供

- ・第2回居場所イベント「動物カフェ～小犬とふれあおう～」
- ・発達支援応援フェアについて

※次回の日程

【第4回防災・あんしん部会】

日時：令和2年12月9日(水) 13:30～15:30

場所：障がい者総合サポートセンター A棟3階集会室